



# 財団の、使命を果たす。

2730地区 ロータリー財団 補助金管理セミナー

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすることです。10月3日、ロータリー財団 補助金管理セミナーがZoom会議にておこなわれ、ロータリー財団の諸活動についての理解を深める機会となりました。

## ロータリー財団の優先目標

- ロータリー財団管理委員会は、2015年度から取り組むべき優先項目として以下の4つを採択しました。
- ①永久にポリオを撲滅する。
  - ②ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる。
  - ③財団補助金と6つの補助金分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。(2021年7月より7番目の補助金分野として「環境の保全」が加わる。)
  - ④ポリオプラスにおける成果と「世界で良いこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。

## ロータリー財団プログラム

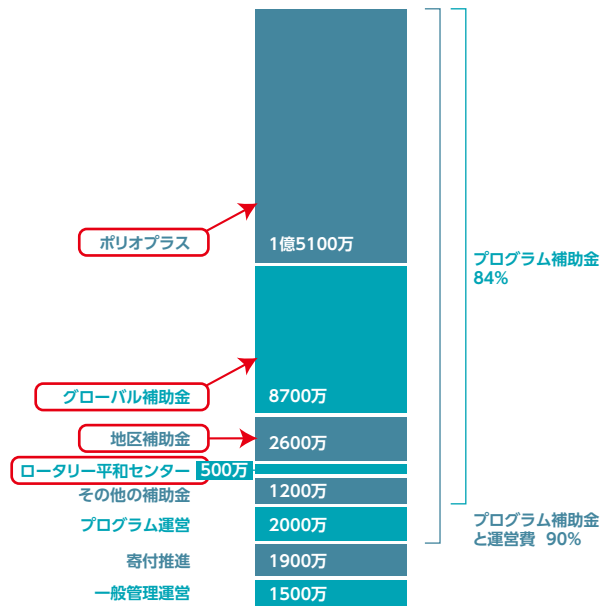
- ①地区補助金
- ②グローバル補助金
- ③ポリオプラス
- ④ロータリー平和センター



それぞれのプログラムを見ていきましょう。

寄付概要	2018-19年度	累計
年次基金	1億2610万ドル	28億ドル
恒久基金	2630万ドル	3億7450万ドル
ポリオプラス基金	1億2870万ドル	16億ドル
その他*	4080万ドル	2億3530万ドル
<b>寄付総額</b>	<b>3億2190万ドル</b>	<b>50億ドル</b>
恒久基金への新規誓約の総額	5840万ドル	8億2890万ドル
ポリオプラスへの繰入**	1490万ドル	-
<b>寄付総額</b>	<b>3億9520万ドル</b>	-
<b>プログラム補助金と運営費</b>	<b>3億140万ドル</b>	1947年以来: 45億7000万ドル

## 2018-19年度の支出総額：3億3500万ドル (単位:ドル)



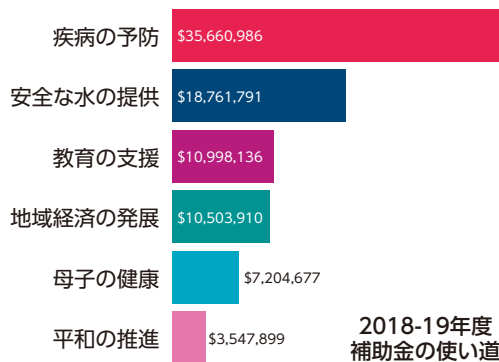
\*「その他」にはグローバル補助金、冠名指定寄付、使途推奨冠名指定寄付が含まれる。

\*\*ポリオプラスへの地区財団活動資金(DDF)の寄付とそれに伴う国際財団活動資金(WF)からの上乗せ金、提携クレジットカードのロイヤリティ、ポリオプラスへの使途推奨冠名指定寄付を含む。

## 11年連続 ロータリー財団に 最高の評価



慈善団体の格付けを行う米国の独立機関、Charity Navigatorが、ロータリー財団に11年連続で最高の4つ星評価を与えました。これはロータリー財団の健全な財務状況および説明責任と透明性へのコミットメントが認められ、財団による寄付の活用、プログラムと奉仕の実施、効果的なガバナンスと組織の透明性が高く評価されたからです。それは皆様からの寄付が無駄なく使われていることを意味します。





ー 2つの補助金を理解しようー

① 地区補助金      ② グローバル補助金

補助金委員会

委員長 谷口 学 (鹿児島RC)

副委員長 井岡松司 (鹿児島SWRC)

地区補助金 (DG)

- 小規模、短期間
- 地元または海外
- 財団の使命に該当
- 毎年一括で支給

グローバル補助金 (GG)

- 大規模で長期的なプロジェクト
- 持続可能かつ測定可能な成果
- ロータリーの重点分野に該当
- 国際的なパートナーシップ

補助金のプロセス

- プロジェクトの立案
- 補助金の選択 (DG or GG)
- 補助金の申請
- 承認
- 補助金の配分
- プロジェクトの実施
- 報告 (実施が終わったら速やかに!)



あなたのクラブのプロジェクトに見合った補助金を選択しましょう。

地区補助金 (DG)

地区に一括して授与される補助金。事業分野についてクラブと地区は、財団の使命に沿った事業に使うことができる。事業は地元地域でも海外でも実施可能。

対象の活動

- 人道的プロジェクト      ■ 奨学金
- 青少年プログラム
- 専門職業を持つ人々からなる職業研修チームの派遣

地区補助金の申請

- 第2730地区のHPより申請書一式をダウンロードして地区事務所にメールにて提出してください。

- 募集期間 2021年1月31日に延長

2020-21年度の2730地区における地区補助金の活動計画一覧を、データ版月信に掲載しました(22クラブ) 他クラブの活動をチェックして、地区補助金の可能性を探りましょう。計画が変更・中止の場合は、そのための手続きが必要です。前もって地区事務所にご連絡ください。



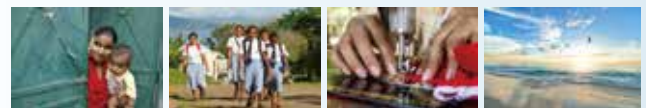
グローバル補助金 (GG)

2か国以上のクラブや地区が6つの重点分野に関するプロジェクト(人道的奉仕・職業研修チーム(VTT)や奨学金)を共同提唱し、立案、実施する国際プロジェクトに授与される。

プロジェクトが重点分野に該当しているか?



平和の推進      疾病の予防      安全な水の提供



母子の健康      教育の支援      地域社会の発展      (環境の保全) ※2021年7月より

グローバル補助金の申請

- My ROTARYにログインして「補助金の申請」からグローバル補助金の申請入力を行ってください。
- 申請は常時受け付けています。

グローバル補助金 (GG) 事業成功のポイント

- 国際間の取組 相手国(提唱者)とのパートナー事業 当地区クラブは国際パートナーとして(支援者)になる
- 姉妹クラブ又は友好クラブと取組みがお勧め! (信頼関係・スムーズな申請・事業の進行状況の把握)
- 姉妹地区のクラブと取組む! (地区の国際奉仕委員会を通じて情報収集)

2つの補助金を申請する前に必要なこと

- 1) 補助金管理セミナーに各クラブから必ず一人は参加し補助金の仕組み等の研修を受講
- 2) 「地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件」に関する詳細をMy ROTARYからダウンロードして熟読・理解してください。順次更新されますのでご注意ください。(最新版は2020年7月)
- 3) クラブ参加資格認定:覚書(MOU)の提出 My ROTARYからダウンロードしてください。会長及び会長エレクトが署名し地区事務所に提出



END POLIO NOW

ーポリオは根絶できる みんなの力があればー

### ③ ポリオプラス 理解を深めて、行動しよう。

ポリオプラス・ロータリーカード委員会

委員長 中村 聡 (鹿児島サザウインドRC)

**ポリオとは**、ポリオウィルスが原因でおこる【**身体麻痺**】のことです。感染者の便に排出されたポリオウィルスを食物とともに口から取り入れてしまうことで人から人へ感染してしまう病です。ポリオウィルスは、1型・2型・3型の3つの型に分けられます。2型・3型はすでに絶滅してると考えられ、残るは1型のみです。

**ポリオプラスとは**、【ポリオと共に、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風】の合計5つの疾病撲滅プログラムのことをさします。ポリオプラスへの寄付は、いったん基金としてプールされ、要請がある都度使用していきます。

**世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)**は、①世界保健機関(WHO)②国際児童基金(UNICEF)③アメリカ疾病対策センター(CDC)④ビル&メリンダ・ゲイツ財団 ⑤国際ロータリー ⑥各国政府を含む官民共同の取り組みです。またロータリーのこれまでのポリオ撲滅運動に対して、PEACEJAM財団(ドライ・ラマ等のノーベル平和受賞者など14名がメンバー)は、非営利活動の最高賞を与えました。

#### なぜ、いまでもポリオ根絶のために寄付をお願いするのか

ポリオの根絶宣言は「野生株でのポリオ発症ゼロが証明され、初めて世界中でのポリオの予防接種が終了したとき」に発表されます。それには最低でも5年かかるといわれています。**日本ではいまでも国家予算でポリオの予防接種を行っており**(年間予算は国+自治体で約230億円)生後54ヶ月までに計4回接種いたします。先進国も日本のように**各国の予算でワクチン注射**による予防接種を行っており、効果は絶大ですがその分費用も莫大です。

**その一方で乏しい国においては、ロータリーが中心となりWHO・国連・ユニセフ・各国政府が予防策を講じています。**具体的には費用のかかる**ワクチン注射に代わって経口ワクチンを使用**しますが、それにはワクチンだけでも年間150億円かかるのです。この150億円の集金プロセスは、ロータリー会員一人あたり約3000円→合計36億円、同額の36億円がロータリー財団(WF)より、さらにビル・ゲイツ財団が合計額と同額の72億円寄付されるという流れです。**(ビル・ゲイツはロータリーの寄付額と同額を上乗せすると明言)**。本来ならばワクチン注射をおこなえば効果は絶大なのですが、その費用はインフラ等供給システム整備を含めると5兆円+αかかるため、ワクチン注射に代わって経口ワクチンを使用することで、撲滅に勝負をかけているのです。

ポリオプラスへの寄付をお願いします。それらはポリオを始め5つの疾病を予防することで貧しい国の人々の命を救うだけでなく、それらを成功させることでロータリーが世界にインパクトをもたらし、人類を苦しめるその他の疾病の予防活動に対して、「参加者の基盤を広げ、積極的な関わりを促す」ことができるからです。



## 財団への寄付を推進します。

財団資金推進委員会 委員長 藤堂 孝一 (佐土原RC)

### 目標

- 寄付金ゼロクラブの解消 ■ 年次寄付\$150/1人を目指す
- ベネファクター 各クラブ2名以上達成
- ポール・ハリス・フェロー 各クラブ2名以上達成
- ポール・ハリス・ソサエティ 地区内3名以上達成

### 財団への3つの寄付の種類

- ①年次寄付は、3年間は利殖させ、3年後のプログラムに使います。
- ②恒久基金は、元金を使わず、財団が運用してその利息だけ使います。
- ③使途指定寄付は、あらかじめ使い道を決めて寄付するものです。ポリオ・プラスがその代表的例です。

## 資金を適切に管理します。

財団資金管理委員会 委員長 阿多 優二 (出水RC)

### 基本方針

補助金の管理を徹底させ、適切な補助管理についてロータリアンに情報や研修を提供します。

### 活動計画

- 財務管理計画の作成、「地区の覚書(MOU)」実施の支援
- 補助金管理セミナー実施等、クラブの参加資格認定の支援
- 補助金委員会と協力して、資金管理を徹底
- 全ての補助金についてのモニタリングと評価
- 資金の悪用や不正を解決する手順を定め、悪用や不正があればロータリー財団に報告し、地元で初期調査を実施
- 年次財務評価が適切に行われることを確認



「平和を創る人」を育てるための 奨学金制度

## ④ ロータリー平和センター

ロータリー平和フェロースhip委員会

委員長 **南 徹** (鹿児島西RC)

副委員長 **明石 良** (宮崎アカデミーRC)



平和は「人」から始まると考えるロータリーは、**平和フェロースhip(奨学金制度)**を通じて、世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。

毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶ 最高130名のフェローが世界中から選ばれ、ロータリーからフェロースhip(全額支給の奨学金)が授与されます。フェロースhipには、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舍・食費)、往復航空券、インターンシップと実地研修の費用が含まれます。

2002年に創設されて以来、ロータリー平和センターは1,300人以上のフェローを輩出してきました。これらのフェローは現在、115カ国以上で活躍し、政府、NGO、軍、教育、法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮しています。本プログラムは、RIが提供する奨学金プログラムであり、**世界6カ国・7つの大学に設置されたロータリー平和センターが奨学生を受け入れ、プログラム実施するものです。**

### 我が地区からも、フェローを輩出したい！ 両県のアカデミーロータリークラブの取組

このプログラムは、2002年にポール・ハリス没後50年を記念して創立されたものですが、選ばれるフェローにはかなりの高度な能力が要求されます。過去にフェローとして合格した日本人の応募者は非常に少なく、2730地区から選抜されたこともありません。故にこのプログラムへ前向きに取り組むため、**宮崎大学と鹿児島大学に創立されたアカデミーロータリークラブを拠点として、数カ年の入念なプランに基づいて、世界平和実現のために献身的な貢献を切望する学生を選抜することを予定しています。**

## 地区補助金の最近の 申請状況 及び 寄付金状況

ロータリー財団 副部門長  
**有村 茂樹** (鹿児島東RC)

**地区補助金の申請状況** 2018～2019年度 **21件** 2019～2020年度 **22件**

基本的にはグローバル補助金の6つの重点分野の用途に使われています。

**グローバル補助金の申請状況** インド3000地区と2730地区の地区対地区のメンタルヘルス、水道設備とトイレ設置、クラブ対クラブではスリランカのクラブと国分ロータリークラブの教育に関する件(現在進行中)程度

### 寄付金に関する報告

**2018～2019年度** (66クラブ 2,365名) ■年次寄付ゼロクラブは無し ■寄付金総額\$256,588 (\$108 / 1人)

■3年後地区補助金として使えるのは 約\$64,147 (約6,700,000円) ■ベネファクター(17名)

■ポリオへの寄付金総額 \$28,411 (\$12 / 1人) ■ポリオへの寄付金ゼロクラブ (32クラブ / 66クラブ中)

**2019～2020年度** (67クラブ 2,412名) ■年次寄付ゼロクラブは無し ■寄付金総額\$249,468 (\$103 / 1人)

■3年後地区補助金として使えるのは 約\$62,367 (約6,500,000円) ■ベネファクター(10名)

■ポリオへの寄付金総額 \$44,083 (\$18 / 1人) ■ポリオへの寄付金ゼロクラブ (27クラブ / 67クラブ中)

**今年度の寄付金目標** ■年次寄付\$150 ■ポリオ\$30 ■ベネファクター(1クラブ1人)

**特に年次寄付は3年後の地区補助金の使用できる金額に反映されます。各クラブとも寄付金目標を目指しましょう。**



発表者や委員長のみが地区事務所に集まり、Zoomセミナーを運営しました。データ版月信にセミナーを受講されたクラブ一覧を掲載いたします。(財団補助金管理セミナーを未受講のクラブは地区補助金を申請できません。来年度以後は地区内全クラブが受講して下さい、お願いいたします。)